

令和元年度事業報告書

1. 法人の理念

事業期間：令和元年 7月 1日～令和 2年 6月 30日。

NPO 法人「こころのはな」は「競争せずに自分を育てる」「共に教え合い学び合う」ことに幸せと使命を感じ、全ての人が持っている「こころのはな」を大切にしたいという理念のもとで活動しています。

2. 事業活動の報告

「ひきこもり」の方達の社会復帰、自立支援のための活動を継続しました。また、「子ども食堂」・「子どもの居場所」・「ひきこもり女子会」・「ひきこもり家族会（親の交流会）」・「講演会」を開催いたしました。

具体的な活動は以下の通りです。

- 1) ひきこもり状態と精神疾患を研究されている精神科医・京都女子大学の濱崎由紀子先生に、「わからない。だから知りたい。「ひきこもり」と「こころの病気」」をテーマに治療と研究成果の実態を話していただき、暑い中、参加費 300 円で 24 名の参加者が来られました。（令和元年 7月 21 日）

「親の交流会」（家族会・エスパワール京都さんと共に）では、ひきこもり体験談を聞きに、参加費 500 円で 13 名の参加者が来られました。（令和元年 12月 8日）

ひきこもり女子会は、毎月 1回、全 13 回実施しました。

延べ 157 名の参加者が来られました。

上記、3 事業で京都府地域再生力プロジェクト交付金を 536,000 円頂きました。また、オムロン基金より 116,000 円頂きました。

- 2) 子ども食堂は、毎月 2回、全 23 回開催し、延べ参加数 784 人（子ども 592 人、保護者 192 人）でした。

京都府から 230,000 円の補助金、オムロン基金より 160,000 円頂きました。

- 3) 脱ひきこもり支援事業では、京都府から 1,000,000 円の補助金、自己負担分 302,100 円を頂きました。不登校の大学 1 年生女性を 3 週間、同年代の女性を 4 週間お預かりし、ひきこもり 30 代男性を 2 週間お預かりしました。通所者は 3 名来られました。

- 4) 子どもの居場所事業では、令和元年度は、休日型で 50 日と 1 泊 2 日の宿泊体験を 2 回（8/10-11・8/24-25）実施致しまして延べ 146 人（内ひとり親家庭 90 人）の参加があり、京都府から委託金として 1,300,000 円を頂きました。翌年度は、生活充実通年型を 100 日でスタートしております。
- 5) DV 民間シェルター事業では、宇治児童相談所より、中学 2 年生男性を 5 日間お預かりし、京都府総合家庭支援センター 30 代男性を 2 日間、親子 3 名（母 40 代・小中学生）を 5 日間お預かりし、104,570 円頂きました。40 代男性を 5~7 月通所で支援（コロナ対策）
- 6) コロナウィルスの自粛中の活動としては、子ども食堂は、玄関でお弁当を渡す形式をとり、4 月は、1 回・5 月は無し・6 月は、玄関で渡す形式で再スタートしております。
子どもの居場所は、5 月下旬からスタートし、ひきこもり女子会は、6 月からスタートいたしました。
- 7) 理事長をはじめ、多くの方から寄付金や食材を頂きました。

3. 理事会の開催

①令和元年 9 月 1 日

議案：理事長の選定の件

決議：理事長の選定をした。

②令和 2 年 1 月 10 日

議案：役員の選任、理事長の選定の件

決議：役員の選任、理事長の選定をした。

③令和 2 年 6 月 17 日

議案：令和元年度事業報告（中間）・広報活動の強化の件

決議：令和元年度事業報告（中間）・広報活動の強化を承認した。

④令和 2 年 8 月 12 日

議案：令和元年度事業報告・令和 2 年度事業計画・監査報告

決議：令和元年度事業報告・令和 2 年度事業計画・監査報告を承認した。